

(研究名)

大腿骨近位部骨折患者における循環器疾患併存率とリハビリテーション進行に関する実態調査

1. 研究の対象

2020年4月1日から2023年3月31日までの期間で、当センターの整形外科に入院した大腿骨近位部骨折の術後患者。

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕

大腿骨近位部骨折の理学療法を多く実施していますが、患者さんの高齢化により併存症を有する症例が多くなっています。また、循環器疾患に対する薬剤内服履歴も多く、併存症や既往歴の確認はリハビリテーション（以下リハビリ）のリスク管理を行ううえで重要です。

〔目的〕

大腿骨近位部骨折患者において、循環器疾患併存症の有無や循環器薬の内服履歴とともに、循環器疾患が術後リハビリ進行に及ぼす影響を調査します。

〔方法〕

当センターのリハビリシステムから、対象期間中に医師よりリハビリ指示のあった患者さんを検索し、対象患者の電子カルテから必要情報（後述）を抽出し分析します。なお、データの収集・分析はリハビリテーション技術科にあるPCで行います。

〔期間〕

倫理委員会承認後から2024年12月31日まで

3. 研究に用いる資料・情報の種類

当センターの電子カルテおよびリハビリシステムから下記の患者情報とリハビリ実施を収集します。

年齢、性別、術式、併存症（心疾患）の有無、内服薬（降圧薬、利尿薬、抗血小板薬、抗凝固薬、抗不整脈薬）の有無、リハビリ担当者の経験年数、リハビリ時のイベントの有無（血圧低下や酸素化不良にて離床ができない、リハビリ中に血圧低下してリハビリを中止したなど）、在院日数、転帰先

4. 個人情報の取扱いについて

データ収集の際には患者さんの氏名およびIDを参照しますが、外部への公開（学会での報告や論文執筆）の際には、代わりに新しく符合または番号をつけて仮名化処理を行い、個人を特定できないようにします。また、それらの抽出データは、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者（岡部雅斗）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院外への発表が行われてから1年保管し、適切に廃棄します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究の結果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報特定できないよう配慮し、今回の研究目的以外に使用することはありません。

6. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 岡部雅斗

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 奥村高弘 深谷直基 横家涼 角森晴気

7. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2023年12月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 岡部雅斗（研究責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151